



### 町長の月給値上げ

#### 内郷町会で原案可決

内郷町二月定例町議会は廿七日午後九時から同役場会議室で開かれ、各議案とも審議附託となり本会議で原案通り可決された。

昭和廿六年度歳入歳出追加更生予算は、歳入既定予算額九千四百九十九万二千三百一十円、追加更生予算額は一千七百五十二万五千六百四十一円、歳入の主なものは、町民税四千二百

本町の折衝職員より明細本説明が求められ四課長以下、法人税二千四百万円、個人税一千八百万円との解答あり、なお又審議職員より「調査による申告者から徴収してないこの事は非常な事務急務だと、鋭く突けば、また吉田議員一孤山税務率を決定するの政治性によつて行つたと認めてよいか」「年々予算外に寄附収入が年五百万円あると、懸念に感じているが、事実か」との懸念もあつた。町長は「全くの事実無根である」と回答、一時相当論議を想像されたが原案通り可決された。

▼電気ガス税百万円、燃費税一千七百万円(常備燃費トシ五百万円)▼地方財政手続交付金、燃料費及び手数料、国庫、県支出金となつてゐる。

また歳出額は追加更生予算額が一千七百五十二万五千六百四十一円、主な歳出は

▼町議会費追加正五万四千五百円、職員報酬が二万六千五百円、副議長二万五千円、職員二万五千五百円、交際費は既定七十万円、約二十万の増追加九十万円、月約二万の増額となり、各職員とも慎重に審議した結果、山崎元町長の懇話によつて七万円を消費してゐるので原案通り可決

▼消防団費としてポンプ四台購入八十三万六千四百円、▼土木費は、宮内道路改修工事五万、宮内橋補修工事十萬、高坂小学校下道改修工事三十萬、その他十二道路、橋りよう工事費金五百五十五万

### 女白浪フトン盗む

植田町大字植田字堂の作クス物産松本長子と金銀甲金は廿五日

### 小名浜隔離病舎

#### 二百七十万円で大改造

県では新たに小名浜町を衛生モデル町に指定し、その第一歩として二百七十五万円の隔離病舎を拡張することを決定約三百名の患者を収容せしめる計画である、また植田町に保健所を新設し、医師のない村には「療養診療車」を派遣するなど衛生施設の拡充計画を進めてゐる

利男ちやん即死

廿七日午後四時五十分ごろ、江名町南町渡辺米吉さん前道路で、利男(二男)利男ちやん(三折柄方)向転落してトラックの平市丸通運所トロッコ、運転手同市丸通運所トロッコを二にハネ飛ぶれ即死

### スリ少年

内郷町大字白水東海林某(七)は二十七日午前十一日五十分ごろ泉原橋内の上り上野行の乗車中の東京

### 浮世口

国鉄初まつて以来とうとう大分サカも知れないが、戦後国鉄しかも列車内の施設物がぼつくと豪華な

### 穴生活者のため

……小名浜で住宅計画……

本紙が報道した小名浜の穴くら生活者のため町当局は住宅を世帯別に割り当てることになり、厚生委員会がこの計画を進めてゐる、即ち廿世帯六十名に對し敷地が決定次第にバラックを建設し収容しようという計画

で、用材は高校旧校舎のものを利用する意向らしい

### レール盗む

不良三人組

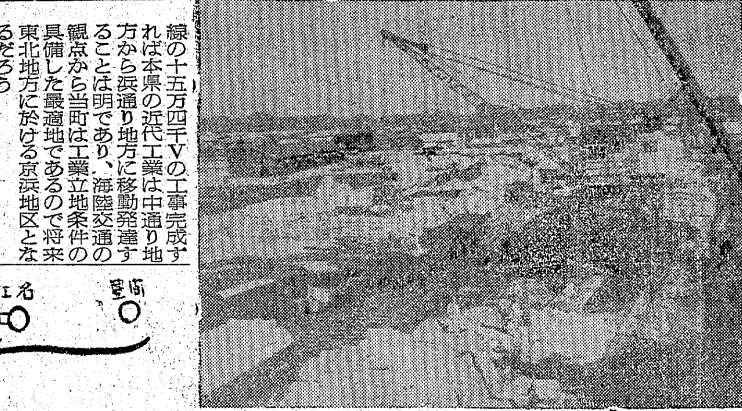
勿来町大字白水字中野渡辺米吉さん前道路で、利男(二男)利男ちやん(三折柄方)向転落してトラックの平市丸通運所トロッコ、運転手同市丸通運所トロッコを二にハネ飛ぶれ即死

## 市制を目前に伸びゆく大小浜の展望



御挨拶 小野義一 県会議員

小名浜町が近き将来市制施行の状況下にある時、之が施行された時は町民はもとより二百萬市民の喜びでもある、現在石城郡下の人口から或は諸工業界の状況から見て当然市は必要である、平は工業都市であるが、小名浜は海産地区の産業都市である、条件としては経済面で平と小名浜が割合多く、例へば中学と大学との差があるように、平は工業都市、小名浜は海産都市である、第二種重要港(商港)は全国どこでも市であるが商港としての小名浜は町である、然し当市は市制として必要な都市計画、教育の確立、予算面としても大なる期待が出来る上、将来地理的にも有利で、銚子から石、八戸に次ぐ小名浜の市制は当然である、然し狭い当市の運動では仲々困難であるが隣接近郊の協力があれば早急に実現する、更に泉村、渡辺村を併合すれば人口五万の小名浜の建設もまたあり得る、今建設中のたを見川電源開発と、平



線の十五万四千Vの工事完成すれば本県の近代工業は中流の地方から浜通り地方に移転発達することになり、海陸交通の便から当市は工業立地条件の具備した最良地であるので、将来東北地方に於ける京浜地帯となるであろう

**日本水素工業株式会社**  
社 長 莊 野 晴 二 郎  
本 社 工 場 福 島 県 小 名 浜 町 高 山 三 四  
電 話 五 〇 一 一 五 〇 五 一 一 九

**小名浜港運送株式会社**  
社 長 西 丸 繁 七 郎  
専 務 北 郷 繁 七 郎  
小 名 浜 町 辰 巳 町 三 一 七 四 二 六 四  
小 名 浜 町 辰 巳 町 三 一 七 四 二 六 四

**三洋海運株式会社**  
小 名 浜 出 張 所  
専 務 石 川 清

**小名浜臨港鉄道株式会社**  
社 長 浦 田 文 二 郎  
専 務 取 締 役 真 木 弘 一  
総 務 部 長 小 野 信 一  
本 社 小 名 浜 町 辰 巳 町 無 番 地  
電 話 二 三 〇 二 七 二 番



<p><b>日本冷蔵株式会社</b> 小名浜工場 工場長 内田正男</p>	<p><b>小名浜機船底曳網漁業協同組合</b> 組合長 田島繁夫</p>	<p><b>小名浜漁業協同組合</b> 組合長 三代義勝</p>	<p><b>小名浜建設業協会</b> 会長 太田武彦 副会長 草野道人</p>	<p><b>常磐交通自動車株式会社</b> 社長 野崎満藏</p>
<p><b>小名浜町農協</b> 組合長 瀬誠明</p>	<p><b>福島県自動車組合</b> 支店長 瀬長寿</p>	<p><b>小名浜町内校長会</b> 会長 松原万</p>	<p><b>小名浜町商工会</b> 会長 草野庄平 副会長 飯塚幸江 専務 飯塚幸江 小名浜町定西 電五二六番</p>	<p><b>江名鉄道株式会社</b> 社長 石原幹市郎</p>
<p><b>小名浜町農業協同組合</b> 組合長 瀬誠明</p>	<p><b>小名浜町内校長会</b> 会長 松原万</p>	<p><b>小名浜鉄工組合</b> 組合長 鈴木丑松</p>	<p><b>小名浜郵便局</b> 局長 浦宗長</p>	<p><b>小名浜金融団</b> 東邦銀行 小名浜支店 大東相互銀行 小名浜支店 七十七銀行 小名浜支店 福島相互銀行 小名浜支店 常陽銀行 小名浜支店 小名浜信用組合</p>
<p><b>不二振興株式会社</b> 社長 永山六郎 小名浜町下明神町 電話八番</p>	<p><b>金美館</b> 本店 平市町町銀座通り 支店 小名浜町本町通り 皆様の明るいデパート 設備と気分満点の 「皆様の簡便な金融は」 信用と親切をモットーとする</p>	<p><b>越藤越</b> 皆様の明るいデパート</p>	<p><b>小名浜旅館組合</b> 組合長 永山六郎</p>	<p><b>小名浜料飲業組合</b> 組合長 飯塚長寿(金時) 副会長 長瀬信隆(ウララ) 幹事 長谷川一(一平) 佐川五郎(月見草) 作山忍(鳥桂) 小野寺(紅) 外 組合員 一 同</p>